

力作の数々を鑑賞

「伝統工芸製作体験講座」作品展



▲押し絵を鑑賞する来場者

天草文化交流館（船之尾町）で5月16日から同24日まで、同館主催の伝統工芸製作体験講座の受講生などの作品展が開かれました。平成20年4月に同館が開館したことを記念して、毎年この時期に開催しているもの。昨年度の受講生など130人が製作した手まりや押し絵、土人形、バラモン風など432点を展示。期間中は約500人が来場し、力作の数々を鑑賞していました。

自分の健康状態を確認しよう

天草市健康フェスタ



▲体組成測定を行う来場者

6月13日、天草市民センター体育館で「天草市健康フェスタ」が開かれ、580人が来場しました。市と郡市歯科医師会が、生活習慣病や歯科疾患の予防、日ごろの生活習慣をふりかえる機会として毎年実施しているもの。参加者は、健康チェックや健康相談などのコーナーで医師やスタッフの指導を聞いたり、体力測定を行ったりするなど、熱心に自分の体の状態をチェックしていました。

風情あるコースを満喫

二江ぐるっとウォーク



▲恵比須様にお参りをする参加者

5月24日、五和町の二江まちづくり振興会主催の「二江ぐるっとウォーク」が開かれ、五和漁村センターから通詞島までの約8kmのコースに、県内外から189人が参加しました。漁師町に見られる入り組んだ狭い路地「せどや」を通り、各集落の恵比須様にお参りするなど思いおもいのペースで散策。ゴール後は、地元産アワビの炭火焼きなどがふるまわれたほか、お楽しみ抽選会も行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。

火遊びは絶対しません！

浦和保育所幼年消防クラブ結成式



▲力強く宣誓する園児

5月13日、有明町の浦和保育所で「幼年消防クラブ結成式」が行われました。子どもたちの防火意識を高めようと、年中・年長の園児22人で結成したものの。式典では、柴田莉奈さんと村木琉斗君が「絶対に火遊びはしません。お父さん・お母さん・先生方の教えを守ります」などと“防火のちかい”を宣誓しました。同クラブでは今後、秋季火災予防運動に合わせて防火パレードなどの活動を行う予定です。

悠々と泳ぐブリを捕まえる！

天草下田温泉祭



▲捕まえたブリを必死に抱きかかえる参加者

温泉の恵みに感謝する「下田温泉祭」が6月6・7日、同温泉街一帯で開かれました。7日に行われた『ブリのつかみどり大会』には、子どもの部と女性の部に各250人が参加。川の中を悠々と泳ぎ回るブリを捕まえようと、びしょぬれになりながら必死に追いかけていました。このほか、お湯かけ女神輿やステージイベントも行われ、約8,000人の人出でにぎわいました。

地域住民の交流を図る

栖本コミセン祭り



▲花の種風船を飛ばす子どもたち

5月30日、「第2回栖本コミセン祭り」が栖本地区コミュニティセンターで開かれ、地域住民など200人が来場しました。同地区振興会が、地域住民の交流を目的に実施したものの。子どもたちがメッセージを書いた風船にコスモスの種を付けた“花の種風船飛ばし”や、同センター近くを流れる河内川沿いを巡る“よみち散策”などを実施。焼鳥やがねあげなどのバザーも行われ、たいへんにぎわいました。

すばらしい演奏を堪能

TSUKEMEN LIVE 2015



▲演奏をするTSUKEMEN

2人がバイオリン、1人がピアノを演奏する男性3人組「TSUKEMEN」のライブが5月29日、天草市民センターで開かれ700人が来場しました。同センターが、気軽に文化や芸術に触れる機会をつくろうと開催したもの。オリジナル曲のほか、クラシックの「エリーゼのために」をアレンジした曲など18曲を演奏。来場者は、「すばらしい演奏に鳥肌が立ちました」と笑顔で話していました。

大多尾の新たな交流拠点

多目的集会所「鍋割のふもと」開所



▲もち投げのようす

新和町の大多尾地区振興会は5月19日、旧大多尾保育所を改修して多目的集会所「鍋割のふもと」を開所しました。地元住民の新たな交流拠点として、国の補助金を活用してオープンしたもの。同地区の「鍋割山」のふもとにあることから、この名称がつけられました。この日は開所式が行われ、同地区振興会の磯辺金義会長が「地域の人が愛される集会所にしたい」とあいさつ。その後、開所を祝い看板の除幕やもち投げが行われました。